

# 大分大学医学部附属病院 眼科 専門修練プログラム

## 1. プログラムの概略・特徴

目標は、多彩な眼疾患に対する病態生理の理解および診断、治療に必要な知識と技能、およびチーム医療を習得することです。

当科は県唯一の大学病院眼科として角結膜、緑内障、白内障、網膜硝子体、ぶどう膜、斜視・弱視、神経眼科、眼外傷といった幅広い分野において難度の高い疾患の診療を行っています。他科およびコメディカルとの連携も緊密で、働きやすい職場環境の設立、ひいては患者本位のチーム医療を実践しています。また、個人が自立した医療を行いながら、難症例や急速な医療の変化に対応するために全員で取り組む医療を実践しており、研修医も重要な一員として勤務して頂きます。

豊富な診療経験を有する多数の指導医の下で、知識（病態、検査、診断、治療）と技能（外来・病棟処置、手術介助、手術執刀）を習得します。回診、カンファレンス、抄読会、研究会、国内外の学会発表や論文作成を通して、知識のみならず自己学習能力を高めます。

## 2. 研修目標

**【一般目標】** 眼科医であると同時に一医療人として、幅広くバランスのとれた知識と経験の上に専門性の高い医療を学び、臨床と教育という形で社会に貢献できる人間形成を目標とする。

**【行動目標】** 個人が自立した医療を行いながら、他科およびコメディカルとの連携も含めた、患者本位のチーム医療を実践できると同時に、常に探求心を持って、カンファレンスや研究会などでは積極的に発言することを目標とする。

## 3. 研修スケジュール

3年目～凡そ10年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学病院			留学		
B	大学病院	関連施設		大学病院		関連施設		
C	大学病院	大学院				関連施設		
D	大学院				関連施設		大学病院	

## 4. 評価

受け身の教育のみでなく個人の興味や学習意欲を重視し、ディスカッションや専門教育の機会も多いプログラムとなっており、日常のカンファレンス、研究会、学会等でのプレゼンテーションが評価対象であり、その場でのフィードバックを重視している。また、日本眼科学会の定める眼科専門医試験を目標に、随時幅広い臨床知識経験を評価しており、現在、この試験の不合格者はいない。

## 5. 募集人員

1学年に4人

## 6. 実施責任者

木許 賢一 山田喜三郎 中室隆子

## 7. 指導責任者

久保田敏昭

## 8. 関連施設、学会認定状況

県内18の関連施設に医局員を派遣しており、種々の臨床最前線での研修が行われている。

日本眼科学会の定める眼科専門医試験はこれまでの受験者、全員が合格している。

## 9. その他

角結膜、水晶体疾患、ぶどう膜炎、眼炎症、緑内障、網膜硝子体疾患、斜視・弱視、視神経疾患、全身疾患と幅広い分野の診療、また、緑内障、網膜硝子体疾患に関する分子生物学、電気生理学、病理学的な研究体制も整っている。

## 10. 連絡先

木許 賢一